

## 患者の自己目標達成に向けた糖尿病看護認定看護師の役割と患者支援

看護部 糖尿病看護認定看護師 柿宇土 敦 子

### I. はじめに

今回介入した入院中のステロイド糖尿病患者には多職種が関わっていたため、糖尿病看護認定看護師は各職種の情報を集約し患者支援体制の連携を図った。認定看護師が調整役になり、病棟スタッフとともに患者の自己目標達成に向けて効果的な支援を行う事ができたので報告する。

### II. 目 的

他職種連携を図る糖尿病看護認定看護師の役割効果を明確にする

### III. 方 法

実践報告。期間、平成23年4月8日～4月28日

### IV. 倫理的配慮

研究の趣旨及び個人が特定されない配慮をする旨を説明し、患者より了承を得た。

### V. 結 果

A氏60歳代、血管炎症候群の治療でステロイド糖尿病となりインスリン療法が開始される。手指の神経・関節障害により注射の実施が困難なため糖尿病看護認定看護師への介入依頼があった。A

氏の自己目標が達成できるよう、A氏の思いと医師、看護師、理学療法士、作業療法士、糖尿病看護認定看護師それぞれの情報や知識を共有し職種間の調整を図り支援に関わった。インスリン注入は箱型を紹介し、実際の注射の場面を各職種と確認した。注射針の装着脱など操作技術が困難な点については、作業療法士より、操作練習がリハビリに繋がることを患者と共に確認する事ができ病棟スタッフへも伝えた。病棟看護師カンファレンスにて足底板に対するA氏の思いと、理学療法士より得た足底板装着のメリットについて情報を提供した。病棟より医師にA氏への病態説明を依頼し、感染予防に留意し足底板を装着することで一致した。A氏より歩行練習や注射への意欲的な言動、退院後のQOL向上への発言がみられた。A氏の努力行動に対し各職種と共に賞賛し心理的なアプローチを行った。

### VI. 考 察

糖尿病看護認定看護師はA氏の自己目標達成に向けて各職種に働きかけ、患者についての専門的な情報や考え、支援技術を集約した。その結果を再度、各職種へ発信することで、職種間の考えの相違が確認でき援助の方向性の統一に繋がった。糖尿病看護認定看護師が多職種を統括し調整役を務めることにより患者支援体制が整い、個々の情報が患者のケアに効果的に活かされると考える。